

競技上の注意

[全般的事項]

1. この大会は(公財)全国高等学校体育連盟が定めた大会実施要項及び令和6年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程、公認審判員規程により行います。
2. 審判はすべて主管者にて行います。なお、サービスジャッジは、学校対抗、個人対抗ともに準決勝より配置します。その他のマッチにおいては原則としてつけません。
3. 競技者はマッチ開始予定の1時間前までには会場に到着し、必ず「受付」を済ませてください。
4. 競技の進行を円滑に進めるために、「受付」「集合」等の時間厳守に努めてください。
5. マッチの進行状況に応じて、予定されたマッチの開始時刻やコートを変更することがあります。放送には十分注意してください。
6. マッチを連続して行う場合の休憩は次の通りです。
 - <学校対抗> 学校対抗が連続する場合は30分間とします。コートを並行して行う場合、同一対抗でオーダー上連続しないプレーヤーが連続してマッチを行う場合は、10分間とします。
 - <個人対抗> 個人対抗(単・複)が連続する場合は20分間とします
7. インターバル中にアドバイスできるのは、監督・コーチなど同時に2人までです。主審の「(コート番号)20秒」のコールで、コーチ席(2席設置)に戻ってください。また、チーム関係者がラケット交換や水分等の補給のために競技区域に入ることはできません。
8. マッチ中の水分補給、汗ふき、シャトル交換などは必ず主審の許可を得てください。なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみとします。ラケットやシャトルの交換時、試打は禁止します。
 - タオル・ラケット・水分補給用のボトル等は、コートサイドにバッグを持ち込んで保管してください。
 - 容器は倒れてもこぼれないフタ付ボトルを使用して下さい。
 - 氷嚢はコーチ席で保冷バッグなどに入れ保管してください。
9. プレーの中断は、主審が認めた場合を除き、一切認められません。なお、ケガ等の場合、レフェリー及び医療役員の判断により、インターバル中を除きマッチに1度だけスプレーの使用を認めることがあります。
10. 次のような違反行為に対しては厳正に対処をします。(競技規則第16条)
 - 体力や息切れを回復できるように、または、アドバイスを受けるためにプレーを遅らせること。
 - 主審の許可なしにコートを離れること。
 - インターバル時間を超えてもコートに戻らないこと。
 - プレーを故意に遅らせたり中断したりすること。
 - 故意にシャトルに手を加えたり破損したりすること。
 - 相手に対して下品で無礼あるいは不適切な態度、言動。
 - 言葉やジェスチャーでサービスジャッジまたは線審に影響を与えたり、または脅迫しようとする事。
 - 競技規則を超えた不品行または不快な行動。
11. 競技中は、必ず高等学校名・都道府県名の入ったシャツを着用するか、ゼッケンをつけてください。着衣上の表示に関しては、日本バドミントン協会競技規則・大会運営規程の第24条の内容を遵守すること。

12. 競技中のケガや病気については、主審がレフェリーコールを行い、レフェリーの判断に従うことになります。
13. 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認められません。もし判定に対し疑問がある場合には、次のサービスが為される前に「質問」をすることができます。ここで質問ができる者とは、学校対抗では当該プレーヤーと監督、個人対抗では当該プレーヤーに限ります。(監督は「IDカード」を必ずつけてください)
14. 競技フロアでは、チーム役員(部長、監督、コーチ、マネージャーなど)およびプレーヤーの携帯電話、パソコンなどの電子機器やカメラの使用を禁止します。競技フロアでは、電源を OFF にしてください〔公認審判員規程第5条第12項(5)(6)〕。
15. コーチ(コーチ席に座る者)はマッチにふさわしい服装で臨んでください。またコーチの着衣についても、背面、広告、ロゴ等の取り決めが適用されます。取り決めに反するユニフォームを着用して競技区域に入ることできません。(日本バドミントン協会競技規則・大会運営規程の第24条 遵守)
16. シャトルに回転を加えてから打つ、通称「デコピンサーブ」はフォルトとします。
17. 応援については、プレーの妨げだけではなく、放送が聞こえず運営に支障が出ること、周囲の観客への迷惑といった理由により、着席のうへ拍手、手拍子、声援、掛け声のみとし、歌および楽器や音を発する道具の使用を禁止したうえで、次の通り制限を設けます。ゲーム中はインプレー終了から、サーバーかレシーバーが次のプレーのため構えをとるまでの間、マッチ前とインターバル中は 10 秒程度の長さで一度まで、中断時は禁止とします。監督が責任を持って事前に指導してください。なお守られない場合は、レフェリーより監督へ改善を求めることがあります。
18. その他は、監督会議における打ち合わせ事項の通りとします。

[学校対抗に関する事項]

1. 監督、コーチ、マネージャー、プレーヤーの変更は監督会議をもって最終のものとし、以後の変更は一切認めません。
2. 試合のコール前に当該会場での練習があります。詳しくは、公式練習割当をご確認ください。
3. 初回戦のオーダー用紙は、監督会議資料の袋に同封しています。次回戦以降は主審より直接手渡します。
4. オーダー用紙は、5枚複写で記入し、切り取らず5枚とも提出してください。
5. オーダー用紙は、オーダー交換所に提出して下さい。対戦校立会いのもとでオーダー交換を行いますので、時間厳守をお願いします。なお、競技1巡目のオーダー交換の時刻は8:30、2巡目からの時刻は、放送でお知らせします。
6. 定時(指示のあった時刻)までにオーダー用紙の提出が無い場合はレフェリーの判断により「棄権」となることがあります。
7. コールがあったら、エントリーをしているもの(監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、プレーヤー5~7名)は、指定コートのショートサービスライン上に整列してください。
8. マッチ開始前のウォームアップは、対戦チームとあいさつを交わした後、各マッチの主審が審判台に座った時から「(ラブオール)プレー」のコールまでの3分間ですが、主審の「レディー トゥ プレー(マッチ開始の準備をしてください。)」のコールで練習を終了し、マッチ開始の準備をしてください。なお、当初から2コート以上を用いる場合も、同様に行ってください。
9. 試合の進行状況により、マッチは2~3コート並行して行うことがあります。

10. マッチは、勝敗決定(3マッチ先取)後、打ち切りとします。
11. 勝敗決定後は、対戦チームとあいさつをし、主審の誘導により、勝利チームから退場してください。

[個人対抗に関する事項]

1. プレーヤーの変更は、いかなる場合でも認められません。
2. 個人対抗1回戦に出場するプレーヤーは、1回戦のコール前に当該会場での練習があります。詳しくは、公式練習割当をご確認ください。
3. コールがあったら、プレーヤーは指定のコートに集まってください。
4. マッチ開始前のウォームアップは、あいさつの後、主審が審判台に座った時から「(ラブオール)プレー」のコールまで同時に3分間ですが、主審の「レディー トゥ プレー(マッチ開始の準備をしてください。)」のコールで練習を終了し、マッチ開始の準備をしてください。なお、単の場合、対戦者同士で行ってください。その際、シャトルは大会本部が用意します。
5. 勝敗決定後は、対戦相手とあいさつをし、主審の誘導により勝者から退場してください。

[一般上の注意]

1. 各競技会場の開場は、7:45です。開場後の入場は1巡目のチームまたはプレーヤーを優先してください。
2. 競技者は会場到着後、IDカードを着用(首にかける)の上、「受付」を済ませてから入場してください。
3. 各競技場では、担当者の指示や会場の表示に従って、下履きと上履きの区別をしてください。
4. 競技フロア内での飲食を禁止します(「競技上の注意・全般的事項8」に関するものは対象外とします)。また、クーラーボックスなどのフロアへの持ち込みは禁止します。床が濡れた場合は、各校の責任できれいにしてください。
5. 部旗、応援旗を使用する際は、競技に支障をきたすことがないように配慮してください。大会本部が競技や大会運営に支障があると判断した場合は、指示によってすみやかに撤去してください。
6. いしかわ総合スポーツセンター・(メインアリーナ)会場では2F 観客席の最前列から2列目、その他の会場では最前2列を「応援席」としますので、荷物を置いての場所とりはできません。また応援する試合が終わったら速やかに移動するようお願いいたします。
7. 観客席以外の通路など公共スペースの使用ルールとマナーを守るようご協力ください。更衣室や通路などを占有使用することのないよう、監督が責任を持って指導してください。
8. フラッシュ・ストロボを用いての写真撮影は禁止します。また、会場施設内の電源(コンセント)の使用は禁止します。
9. ゴミは各自で責任を持って持ち帰ってください。「来たときよりも美しく」の気持ちを心掛けてください。
10. 競技中の疾病、傷害についてはマッチ後の応急処置のみ主催者側で行いますが、その後は各校で処置をしてください。
11. 防犯上、貴重品はじめ私物の管理は、各自(各チーム)で責任を持って行ってください。